VEGAの
基本的な使い方

VEGAを用いて衛星画像を表示させる方法を紹介します

目的と大まかな流れ

目的

見たい場所(陸地に限ります)で見たい期間(1982/08～)の衛星画像を表示させる方法を紹介します

流れ

1. VEGAにアクセス(他の場所を見る際は新しいタブで開くことをお勧めします)
2. みたい場所へ地図の方のカーソルを合わせる
3. みたい期間に合わせて右の欄を設定して画像を表示

2025年10月時点の情報に基づいています

まずは見たい場所と見たい期間を決めよう

1. **見たい場所はどこですか？**

   海上の場合はデータが基本的にはありません。

2. **見たい期間はいつですか？**

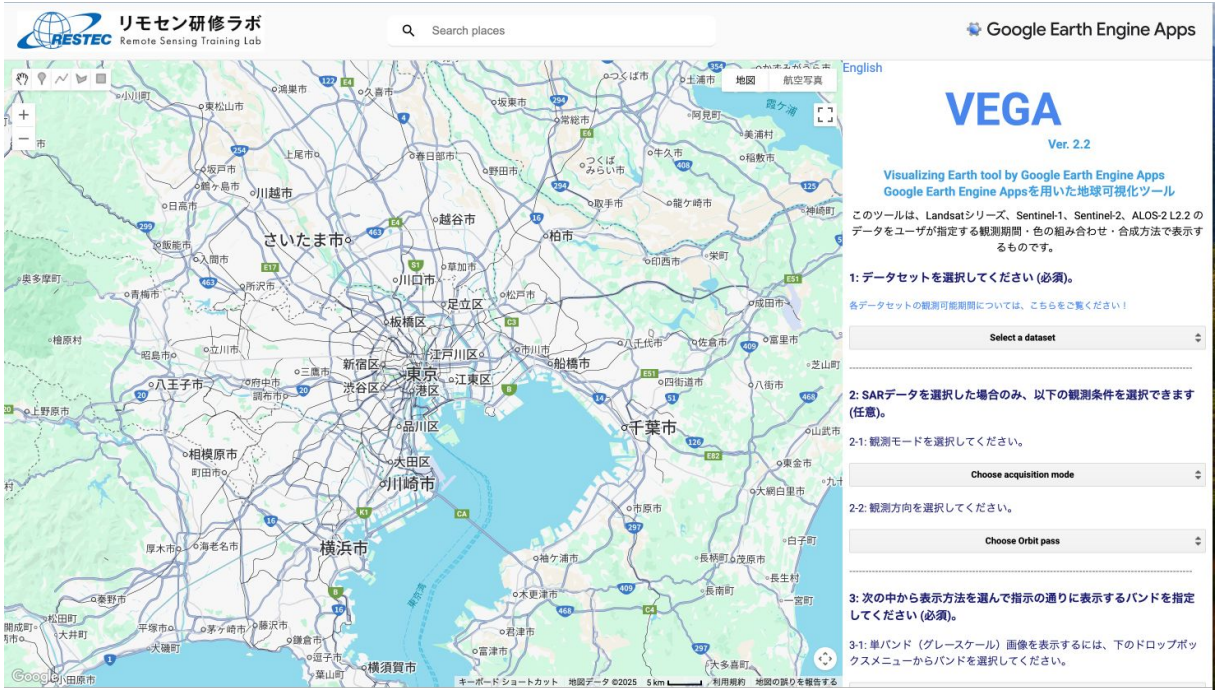
   ピンポイントに何年の何月何日と決まってきても、その日に衛星が撮影していなくデータがないことがあります。

   また、あったとしても雲で覆われていることがあります。

上2つが決まったら早速使ってみましょう！

VEGAにアクセスします

https://geerestec.users.earthengine.app/view/vega-restecにアクセスしてください



左の写真の画面になるはずです
次は見たい場所に地図を移動させます

見たい場所へ地図を移動させます

方法は2つあります

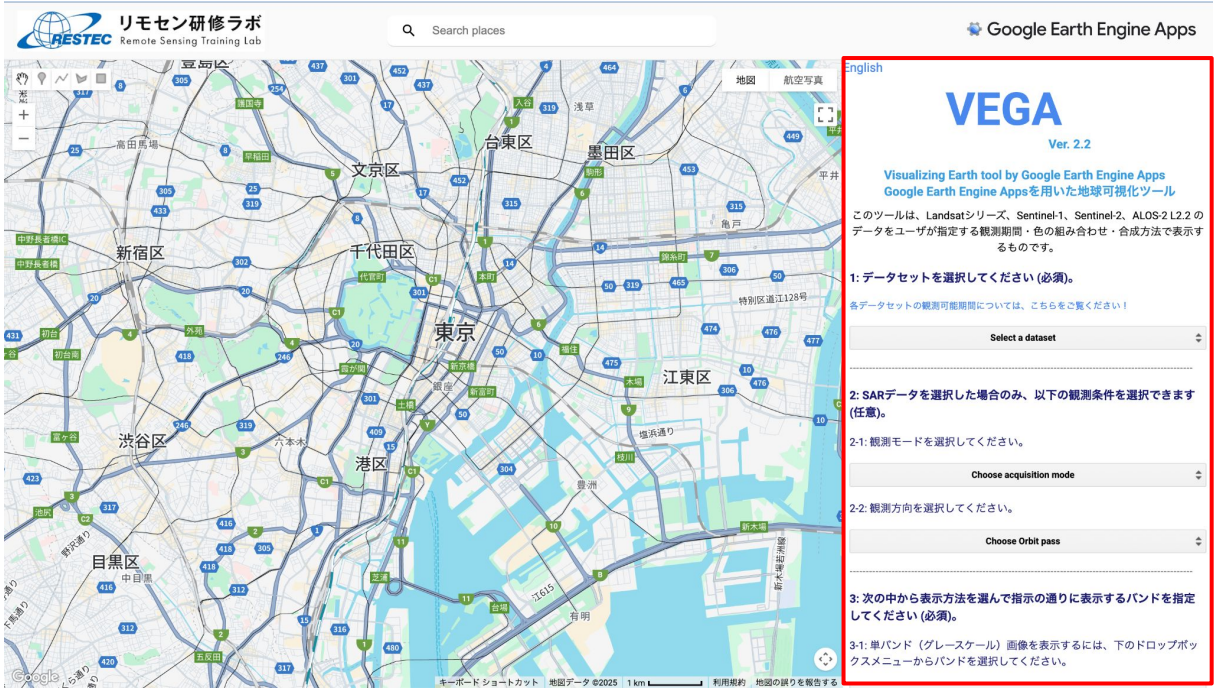
1. 「皇居」など上の検索欄で検索
2. 地図上でドラッグして見たい場所まで移動

皆さんは見たい場所に移動しましょう

この資料では例として「東京」に合わせます

＊この時、左下の縮尺が 100m以下にすると見づらくなりますので注意してください
（自分の家など、対象が小さいと見づらくなるので注意してください）

見たい場所へ地図を移動させます



次は右の欄を設定していきます

見たい期間を決めましょう

1：1982年～2020年の方は次のページへ

　1の場合は解像度(画像の鮮明具合)が低いので、大きなエリアを対象としてください

2：2017年以降の方は**12**ページに移動してください

＊2017年以降の場合は下の方をお勧めします

右の欄の設定「1と2と3」（1982年～2020年）

1: データセットを選択してください　(必須)。

プルダウンから「 Labdsat4,5,及び7地表面反射率 Tier1」を選択してください

2: SARデータを選択した場合のみ、以下の観測条件を選択できます　　(任意)。

何も設定しないでください

3: 次の中から表示方法を選んで指示の通りに表示するバンドを指定してください　　(必須)。

3-1は何も設定しないでください

3-2には「B3-B2-B1」と入力してください (コピーペーストでも大丈夫です)

右の欄の設定「4と5と6」（1982年～2020年）

4: 表示させる最小・最大の画素値（光学の場合は反射率　×10000、SARの場合は後方散乱の値（マイナスの値））をテキストボックスに入力してください　(必須)。

上の欄には「 0」を下の欄には「 2000」を入力してください

5: 表示させたいデータの観測時期（検索開始・終了日）を例のようにテキストボックスに入力してください　(必須)。

上の欄には「 1985-01-01」のように日付を入力してください

下の欄には「 1985-03-01」のように日付を入力してください

6: データの合成方法を選択してください　(必須)。

プルダウンから「最新（合成しない）」を選択してください

右の欄の設定「7と8」（1982年～2020年）

7: 雲マスクを適用する場合は、チェックを入れてください　(任意)。

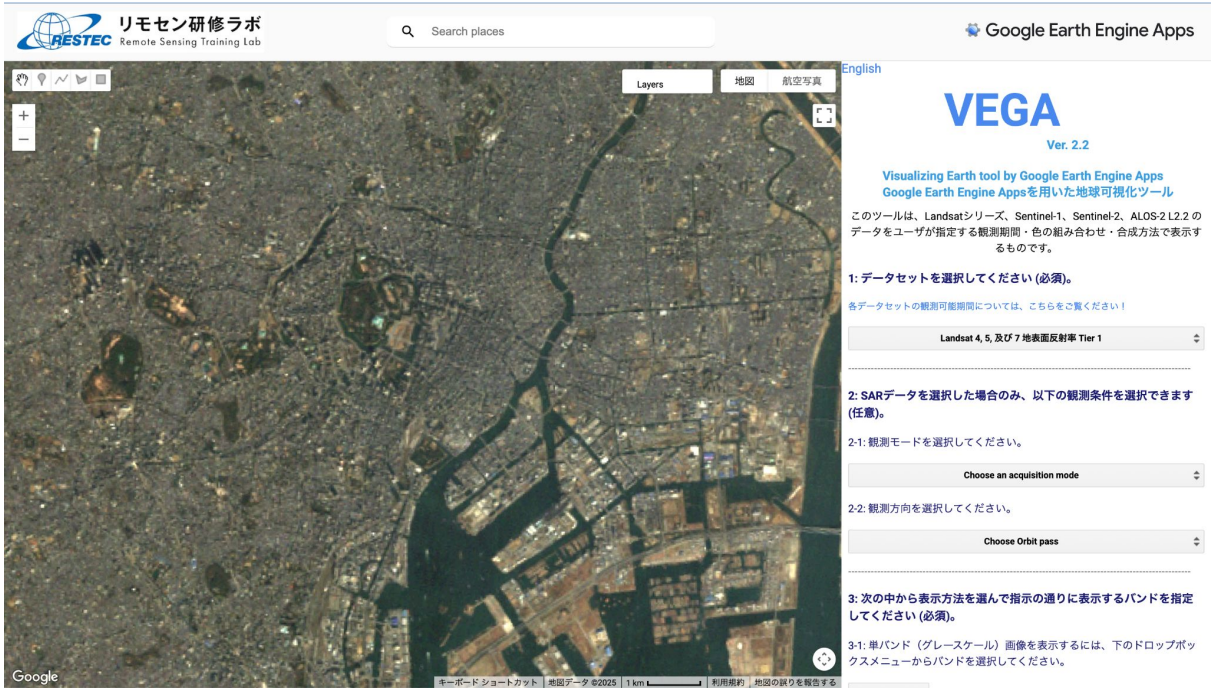
何も設定しないでください

8: 表示ボタンを押して、画像を表示してください　(必須)。

下の「Load image」をクリックしたら衛星画像が左に表示されます

2025年10月時点の情報に基づいています

1985年の東京を表示できました



右の欄の設定「1と2と3」(2017年以降)

1: データセットを選択してください　(必須)。

プルダウンから「 Sentinel-2 地表面反射率」を選択してください

2: SARデータを選択した場合のみ、以下の観測条件を選択できます　　(任意)。

何も設定しないでください

3: 次の中から表示方法を選んで指示の通りに表示するバンドを指定してください　　(必須)。

3-1は何も設定しないでください

3-2には「B4-B3-B2」と入力してください (コピーペーストでも大丈夫です)

右の欄の設定「4と5と6」（2017年以降）

4: 表示させる最小・最大の画素値（光学の場合は反射率　×10000、SARの場合は後方散乱の値（マイナスの値））をテキストボックスに入力してください　(必須)。

上の欄には「 0」を下の欄には「 2000」を入力してください

5: 表示させたいデータの観測時期（検索開始・終了日）を例のようにテキストボックスに入力してください　(必須)。

上の欄には「 2025-07-01」のように日付を入力してください

下の欄には「 2025-07-16」のように日付を入力してください

6: データの合成方法を選択してください　(必須)。

プルダウンから「最新（合成しない）」を選択してください

右の欄の設定「7と8」（2017年以降）

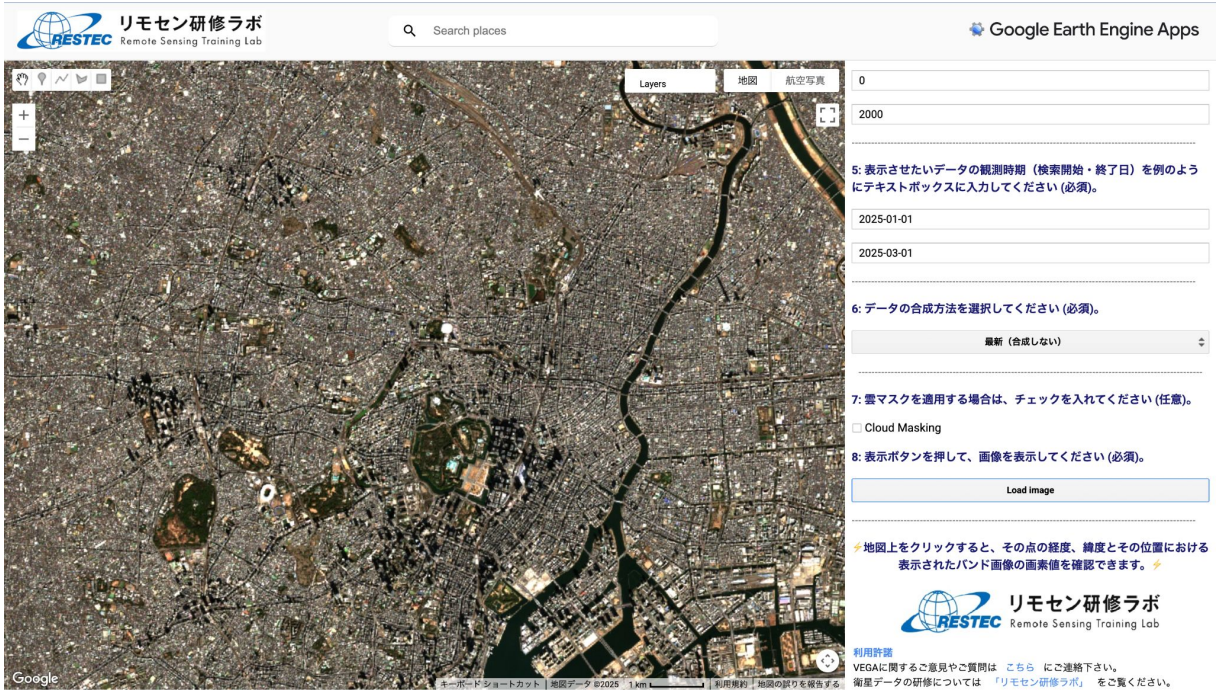
7: 雲マスクを適用する場合は、チェックを入れてください　(任意)。

何も設定しないでください

8: 表示ボタンを押して、画像を表示してください　(必須)。

下の「Load image」をクリックしたら衛星画像が左に表示されます

2025年の東京を表示できました



この衛星画像がいつのものなのかの説明

観測日（所定期間内）:

最初の観測: 2025-01-01

最後の観測: 2025-02-25

最後の観測の日が左の衛星画像の撮影日です

全体に雲がかかってしまっている場合は、 5の入力を変更してみましょう

5: 表示させたいデータの観測時期（検索開始・終了日）を例のようにテキストボックスに入力してください (必須)。

上の欄には1週間前の日付を「2024-01-04」のように入力してください

下の欄には今日の日付を「2024-01-25」のように入力してください

上の赤くなっているところを変更し、 8の「Load image」を押すと再び表示されます

2025年10月時点の情報に基づいています

ひとこと

東京ドームも新国立競技場も1985年にはなかったことが確認できます

HP下の具体例を通して、衛星画像の表示に慣れていきましょう！

2025年10月時点の情報に基づいています

出典:

出典:RESTEC「VEGA」画面スクリーンショット

注記:

本資料は教育目的で作成されたものです。

VEGAのデータ利用条件は将来変更される可能性があります。

作成:

宇宙開発フォーラム実行委員会(SDF)　dot.プロジェクト